



2021年11月15日から18日の4日間、世界各国から45名の講演者を招き、3回目となるGS1ヘルスケアオンラインサミットが開催された。89カ国、741人の聴講者に対して、各国でのバーコード表示規制の最新動向や医療機関でのGS1標準活用事例などが報告され、活発な議論が行われた。

※本書は、GS1ヘルスケアジャパン協議会会員向けに会議内容を報告する目的で作成されたものです。

本資料内の図には、会議内で講演者が用いた資料が含まれますので、転載はお控えください。

GS1ヘルスケアジャパン協議会

目次

Day 1

オープニング

ファーストセッション - デジタル技術と国際標準は、いかに臨床現場に成果をもたらすのか？

1. 英国から見た、デジタル技術と国際標準が臨床現場にもたらす成果とは？
2. Zuyderland における GS1 標準導入
3. 物流、資産・医療製品管理プロセスにおける透明性、効率および安全性の向上-よりスマートで安全な病院を目指して-
4. ACT Health のケーススタディ - 標準バーコードが臨床現場にもたらす効果

セカンドセッション - パート1：医療機器規制への注目

1. サウジアラビアの UDI 規制
2. 中国の UDI 規制
3. 中国における UDI データベース構築
4. ブラジルにおける UDI の実施

セカンドセッション - パート2：サプライヤの経験談

1. サプライヤ（ベクトン・ディッキンソン社）が UDI に関して経験したこと
2. ヘルスケア産業全体の価値向上に向けて -WEGO グループの UDI 導入の経験談-
3. Industrias Medicas Sampedro 社の UDI 導入経験

Day 2

セッション 1 - 先進的な導入事例の紹介 - 進歩は継続している

1. 病院の進歩の向上：GS1 DataMatrix を利用した病院内のトレーサビリティと単回投与パッケージ
2. Sanofi における GS1 データマトリックス導入までの道のり
3. アイルランドのテンプルストリート小児医療施設における、より安全なサービスを患者に提供するための革新的なトレーサビリティソリューション
4. Johnson & Johnson (J&J) シンガポールでの GS1 デジタルリンクの導入事例

セッション 2 - 行動の呼びかけ：医薬品サプライチェーンのトレーサビリティに関するアフリカの戦略に基づいて構築されたグローバル標準の導入に関する最新情報

1. イントロダクション
2. GS1 標準を用いた医薬品トレーサビリティの実現（ナイジェリア）
3. 導入の最初の年に学んだトレーサビリティの教訓（エチオピア）
4. 医薬品のトレーサビリティに関するグローバル標準の採用（ザンビア）
5. NPC（ナショナル・プロダクト・カタログ）を導入して得られた教訓（ルワンダ）
6. パンデミックにおける政策ガイドラインとサプライチェーンの完全性（WHO）
7. 検証およびトレーサビリティへの取り組み
8. ワクチンおよびその他の医薬品への GS1 標準の導入（ビデオメッセージ）（インド）

Day 3

セッション 1 - 医薬品規制スポットライト

1. WFH（世界血友病連携）による人道的援助プログラム
2. 米国の医薬品規制
3. Pfizer 社での GS1 標準利用について
4. 医薬品トレーサビリティ規制（ブラジル）

セッション 2 - ヘルスケアのスマート化のために：将来何か必要なのか？

1. イントロダクション
2. サプライチェーンにおけるデータマネジメント戦略
3. 医療機器のリアルワールドエビデンスのための UDI スキャンの価値
4. ヘルスケアのスマート化に貢献
5. Royal Papworth Hospital での GS1 との旅路

※この他、上記の本セッションが行われる前の 11 月 15 日には、スターターセッションと題された、GS1 標準の基礎的な知識を学ぶためのセッションも開催された。

※本文中に登場する各日程の開催時刻は、いずれも日本時間である。

各セッション内容の詳細付きの報告書は、GS1ヘルスケアジャパン協議会 会員専用ページに掲載しています。